

パレット



佐野市男女共同参画都市宣言キャッチフレーズ

～認める 支える 分かち合う 個性かがやく参画社会～

新型コロナウイルス感染症の影響で、 あなたの生活はどんな風になりましたか？ vol.2

新型コロナウイルスの影響で、妊娠・出産の環境が大きく変化しました。誰も経験したことのない状況下、現実を受け止め感染予防に努め、立ち合いや面会の制限があるなか出産を乗り越えました。そして、現在もコロナ禍という従来と異なる環境で子育てをしています。そんなママたちの声に耳を傾け寄り添いながら、ママたちが本当に求めているサポートやサービス提供が一層すすむことを期待します。



写真：佐野市で生まれた赤ちゃんとお母さんたち（撮影時期：令和3年初夏）

目次

- 2p…子育てのこと、聞いてみました
- 3p…佐野看護学校の皆さんにお話を伺いました
／男女共同参画ネットワークさのの総会が開催されました
- 4p…金子市長にインタビュー 男女共同参画の視点からお伺いしました

子育てのこと、聞いてみました

新型コロナウイルスの影響により、働き方や子育てに関する環境も変化しています。安心して仕事を続けるためには、保育園の利用や家族・職場の理解等が必要です。

今回は、公立保育園を利用する1歳児の保護者の方にアンケートを行い、子育ての状況を調査しました。

対象者：公立保育園1歳児クラス保護者 92名（回答者88名、回収率95.6%）

回収期間：令和3年5月26日から6月7日まで

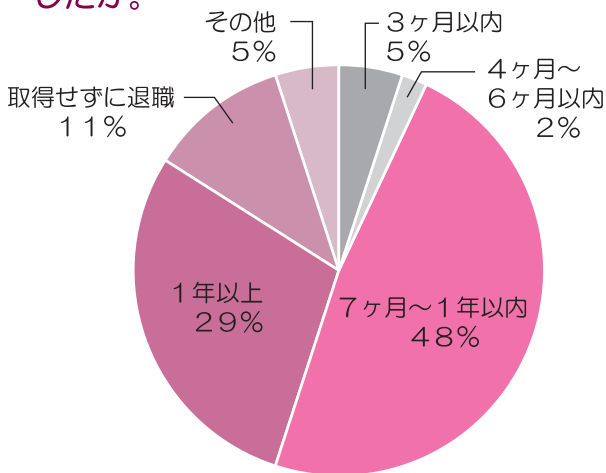
1. 家族構成
- | | |
|--------------------|-----|
| 父母（父のみ、母のみも含む）と子のみ | 68% |
| 父母と祖父母と同居 | 27% |
| 父母と祖父母と曾祖父母と同居 | 5% |

核家族の割合が高く、保育サービスの必要性が高いことが分かります。

2. 今通っている保育園は何番目に希望の保育園でしたか。

- | | | | | | | | |
|------|-----|------|-----|------|----|--------|----|
| 第1希望 | 67% | 第2希望 | 19% | 第3希望 | 8% | 第4～6希望 | 2% |
| 希望外 | 4% | | | | | | |

3. 育児休業はどのくらいの期間取得できましたか。



4. 家族で育児休業を取得できた方は母以外にいますか。

（会社独自の制度による休業も含みます）

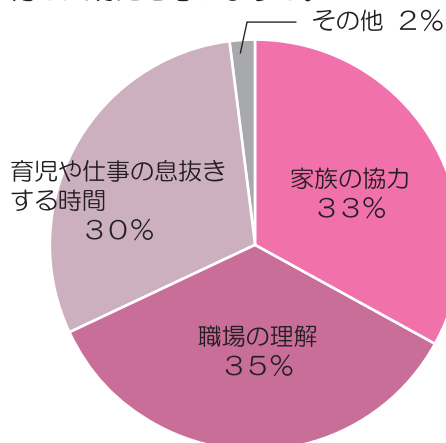
- | | | | |
|----|----|-----|-----|
| はい | 7% | いいえ | 93% |
|----|----|-----|-----|

取得できた場合は7か月以上の方が70%以上を占めています。一方、母以外の取得率は7%とかなり低くなっています。

5. 子育てと仕事の両立について、大変さや不安を感じることがありますか。

- | | | | |
|----|-----|-----|-----|
| はい | 90% | いいえ | 10% |
|----|-----|-----|-----|

→はいと答えられた方 両立するにあたって、何が大切だと思いますか。



そのほか「保育時間を長くしてほしい」「子育ての情報をもっとほしい」「コロナで行事等に制限があり残念」等子育てや保育に関する声がありました。

今回のアンケートでは協力が周囲に少ない中で、大変さや不安を感じながらも子育てをしている方が多くいること、母は半年以上の期間育児休業をとれた人が多数を占める一方で、母以外の育児休業取得者はまだまだ割合が低いことが分かりました。今後「家族の協力」とともに「職場の理解」もより進むといいですね。

佐野准看護学校の学生の皆さんにお話を伺いました！

コロナ禍でも夢を目指して学ぶ佐野准看護学校の学生の皆さん41名にアンケートという形で、現在の様子や将来の希望をお聞きしました。十代から五十代まで、男女問わず幅広い年代の皆さんが学んでいます。

「誰もが大変なときに人のために働いて尊敬する」「活躍が多くやりがいがある」「大切な仕事である」など、コロナ禍で改めて、ご自身の目指す姿を再確認した方もいらっしゃいました。学生である現在も病院内にウィルスを持ち込まないよう普段から気を付けて生活しているそうです。

Q 入学した志望動機を教えてください。

A 「看護師になりたい」「興味や憧れがあった」と以前から関心を持ち学んでいる方が約半数を占めました。それ以外にも「スキルアップのため」「手に職をつけるため」など、仕事や生活のために入学した方も複数いらっしゃいました。

Q コロナ前と現在では、看護師に対する考え方は変わりましたか。変わった場合、どのように変わりましたか。

A 「変わった」と回答された方は約26%でした。「大変な仕事である」ことを実感する一方、

Q どんな看護師になりたいですか。

A 「人の心に寄り添える」「優しい」「知識がある」「笑顔を絶やさない」「責任を持って行動できる」「安心感がある」「冷静でかっこいい」「落ち着いて行動できる」「頼りになる」など、目指す看護師像への思いをいただきました。



1年生が二人一組になり「ベッドメイキング」（シーツ交換）の実習をしている様子を見学してきました。「使用する患者さんのことを考えてシーツは肌触りのよい表側が肌に触れるようセットする。」「しわを作らないようにしながら10分くらいで仕上げる。」等に注意し、放課後練習に励んでいるそうです。生徒さんたちは、お互いに助け合いながら楽しそうな雰囲気でしたが、看護師としての仕事を身につけるといふ真剣な思いも伝わってきました。

アンケートの方では、すべてを紹介しきれないのが残念なほどに、看護師を目指す熱い気持ちを聞き取ることができました。

男女共同参画ネットワークさの総会が開催されました

男女共同参画ネットワークさのは、男女共同参画社会の実現を目指す豊かで住みよいまちづくりを努めることを目的として、現在11団体と個人会員5名が所属し、活動しています。

5月27日に令和3年度男女共同参画ネットワークさの定期総会が開催され、会長に永倉文子（NPO法人COCA）さんが新しく選出されました。女性に関わる新たな問題が課題として浮上している昨今ですので、問題解決に向けた活動に期待したいです。



↑新役員の皆さん
新たな体制で、コロナ禍で出来ることを考えながら活動を進めていきます。

金子市長にインタビュー

男女共同参画の視点からお伺いしました

Q 男女共同参画の実現とは？

市長 男女共同参画は、既にあるものに単に「参加」することではなく、事業や政策などの計画段階から主体的に加わる「参画」です。男女共同参画の意識を高めていただくため、パレットなどの広報紙や各講座などによる啓発活動はとても大切です。そして「男女共同参画」という言葉そのものが使われない社会を実現することだと考えています。

Q 子どもの貧困や子ども食堂、フードバンクについてお考えは？

市長 親の収入によって、子どもの学習の機会が奪われるなど、貧困による「負の連鎖」は止めなくてはなりません。また、親が忙しく、子どもを歯医者などに連れて行けない「健康の格差」もあってはなりません。子ども食堂やフードバンクは、NPO法人などが取り組んでおり、市が運営するよりも柔軟な対応ができ、市の関わり方を考えていきます。

Q 若い女性の転出が多いようですが対策は？

市長 残念ながら若い女性は転出超過傾向にあります。そこで、子どもの頃から、佐野市から転出していかないような施策を行うべきと考えています。キャリア教育の一環で、小・中・高校のそれぞれの段階で、家族が地元で働いている姿を見て、職業を知ってもらい、佐野市内で就職していただけたらと考えています。

Q 「人とのつながりを大切にする」とは？

市長 ご近所やサークル活動など様々なつながりがありますが、「当たり前の人とのつながり」を構築する必要がありますと考えています。また、市民の皆さんと市つながりについても、市が所管する事務はもちろん、所管しない事務でも解決方法などをアドバイスすることによって、市は皆さんとつながりができ、皆さんも市を身近なものと思っただけだと考えています。

Q マルチステージについてお考えは？

市長 人生100年時代について、長くなった人生を充実させ、自己実現する「シニア地域デビュー条例」を策定し、地域で活躍するための「地域のルール」などを啓発していきたいと考えています。また、佐野市の平均寿命は、県内ワースト1位です。マルチの人生には健康長寿が不可欠です。スポーツ医学センターの設置により、体の健康をはじめメンタルや栄養面も支援していききたいと考えています。



※撮影の時のみ、マスクを外しています。



インタビューを終えて…
程よい緊張感の中、時折ユーモアを交えながらの回答に親しみを感じるインタビューとなりました。
「参加ではなく参画することが大切。」金子市長の考えるよい良い佐野市になるためのキーワードのひとつです。
魅力ある佐野市の実現のためには、私たちが『参画している』という意識を持って行動することが必要なのだと思いました。

【編集委員】

今井美砂子 黒澤千賀子
小林由美 高橋晴美 中里聖子

パレット 第23号【2021年8月発行】
編集発行 佐野市市民生活部人権・男女共同参画課
〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3
電話 0283 (61) 1140 FAX 0283 (61) 1142
E-mail: danjokakari@city.sano.lg.jp

【編集後記】

ご協力いただいた、たくさんの方の言葉に編集委員全員がとても感銘を受け、応援したい気持ちでいっぱいになりました。「何かを始めるのに年齢は関係ない」とよく言いますが、コロナ禍であってもチャレンジする気持ちを持ち続けること、できることはたくさんあることに気付かれます。皆さんも、何か小さなことから一つ始めてみませんか？
本号から新しい編集委員メンバーで活動をしています。今回ご協力いただいた皆様に心よりの感謝申し上げます。

男女共同参画に関する身近な情報や、市内で活躍する女性の情報をお寄せください。また情報紙「パレット」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。